

第74期 定時株主総会 招集ご通知

開催日時

2025年6月19日（木曜日）
午前10時00分 受付開始：午前9時15分

開催場所

新潟県長岡市中之島1993番地17
アクシアル リテイリング株式会社 本社

昨年と開催場所が異なります。
ご来場の際は、末尾の「株主総会会場のご案内」をご参照のうえ、
お間違えのないようにご注意ください。

議案

第1号議案 剰余金処分の件
第2号議案 監査役1名選任の件

会社法上の株主総会資料の電子提供措置制度に基づき、株主の皆様へは
招集ご通知（アクセス通知・サマリー版）をお届けしております。

【第74期定時株主総会招集ご通知（交付書面）】、【第74期定時株
主総会招集に際してのその他の電子提供措置事項（交付書面省
略事項）】につきましては、次頁記載の「当社ウェブ
サイト」または「東証上場会社情報サービス」
からご覧いただけます。

（アクセス通知・サマリー版）

アクシアル リテイリング株式会社

証券コード：8255

(発送日) 2025年5月27日
(電子提供措置の開始日) 2025年5月26日

新潟県長岡市中之島1993番地17

アクシアル リテイリング株式会社

代表取締役社長・CEO 原 和彦

第74期 定時株主総会招集ご通知

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当社第74期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、以下のウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト <https://www.axial-r.com/>



上記の当社ウェブサイトにアクセスいただき、ニュースリリースの
「第74期定時株主総会関連資料」に関する掲載を選択のうえ、ご確認ください。

また、電子提供措置事項は、当社ウェブサイトのほか、東京証券取引所のウェブサイト（東証上場会社情報サービス）にも掲載しておりますので、以下よりご確認ください。

東証上場会社
情報サービス [https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/
JJK010010Action.do?Show=Show](https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show)



上記の東証ウェブサイトアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「アクシアル」又は、「コード」に半角英数で当社証券コード「8255」を入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。

記

日 時 | **2025年6月19日 (木曜日) 午前10時00分**
(受付開始) 同日 午前9時15分

場 所 | 新潟県長岡市中之島1993番地17
アクシアル リテイリング株式会社 本社

昨年と開催場所が異なります。ご来場の際は、末尾の「株主総会会場のご案内」をご参照のうえ、お間違えのないようにご注意ください。

会議の目的 | **1 報告事項**

1. 第74期 (2024年4月1日から2025年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第74期 (2024年4月1日から2025年3月31日まで) 計算書類報告の件

2 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
第2号議案 監査役1名選任の件

以上

当日ご出席されない場合は、書面（郵送）又は電磁的方法（インターネット等）により議決権を行使することができますので、お手数ながら<株主総会参考書類>をご検討のうえ、議決権を行使していただきたくお願い申し上げます。

なお、議決権の行使につきましては、<議決権行使についてのご案内>をご覧ください。

ご案内

- 株主総会会場へのご来場以外にも、書面又はインターネット等による議決権行使の方法をご用意しておりますので、ご活用ください。なお、株主総会会場へご来場された株主の皆様には、心ばかりのお礼の品（当社オリジナル商品）をご用意させていただきます。
- 株主総会の開催場所、運営方法等について変更が生じる可能性があります。変更が生じた場合は、当社ウェブサイト（<https://www.axial-r.com/>）にてご案内いたします。
- 本株主総会は株主様に限定してインターネットでライブ配信を行います。出席株主様が映らないようにできる限り配慮いたしますが、やむを得ず映り込む可能性があります。
- ◎ 当日ご出席の際は、お手数ながら本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- ◎ 代理人による議決権の行使が認められるのは、議決権を有する他の株主の方に委任する場合に限られます。なお、代理人は1名とさせていただきます。この場合、代理権を証明する書面の提出が必要ですので、ご了承ください。
- ◎ 電子提供措置事項のうち、事業報告の「会社の体制及び方針（業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況）」、連結計算書類の「連結注記表」及び計算書類の「個別注記表」につきましては、法令及び当社定款第16条の規定に基づき、書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面には記載しておりません。なお、会計監査人が会計監査報告を作成するに際して監査した連結計算書類及び計算書類には、この「連結注記表」及び「個別注記表」が、監査役が監査報告を作成するに際して監査した事業報告、連結計算書類及び計算書類には、この「会社の体制及び方針」、「連結注記表」及び「個別注記表」が含まれております。
- ◎ 電子提供措置事項に修正が生じた場合は、当社ウェブサイト及び東京証券取引所のウェブサイト（東証上場会社情報サービス）において修正内容を掲載いたします。

株主総会のインターネット配信

- ◎ 株主総会当日の様様を、株主様に限定してインターネットでライブ配信いたします。ご視聴までの流れは次のとおりです。

1. 下記受付専用ウェブサイトにて事前にお申し込みをお願いします。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_FQsLuH59QdmrJB1TBxhtlw

(事前申込期間) 2025年5月28日(水曜日)～株主総会開始時刻まで

議決権行使書用紙を投函する前に「株主番号」を必ずお手元にお控えのうえ、表示された受付画面に、「株主名」、「メールアドレス」及び議決権行使書用紙に記載の「株主番号」をご登録ください。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。



URL
QRコード

2. お申し込みいただいた内容を確認の後、ご登録いただいたメールアドレスへ、株主総会当日にライブ配信するご視聴ウェブアドレスをご案内いたします。下記ライブ配信日時になりましたらアクセスしてご覧ください。

(ライブ配信日時) 2025年6月19日(木曜日) 午前9時55分頃～株主総会終了時刻まで

- インターネットによりライブ配信をご覧いただくことは、会社法上、株主総会への出席とは認められません。そのためインターネットによるライブ配信を通じて、質問、議決権行使や動議を行うことはできません。議決権行使は、後記の<議決権行使についてのご案内>をご覧ください。
- 天変地異や不測の事態により、ライブ配信ができなくなる可能性がございます。配信中止の場合は、当社ウェブサイト (<https://www.axial-r.com/>) にてご案内いたします。
- ◎ ご使用の機器やインターネット環境により、映像や音声に不具合が生じる場合がございますのであらかじめご了承ください。また、ご視聴いただくための通信料金等は、各株主様のご負担となります。
- ◎ 株主番号及び視聴ウェブアドレスの第三者への提供、ライブ配信の撮影・録画・録音・保存及びSNS等での公開等は、固くお断りいたします。

議決権行使についてのご案内

議決権は、以下**1**～**4**のいずれかの方法により行使いただくことができます。

1 株主総会にご出席のうえ議決権を行使される場合



本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙を**会場受付にご提出**ください。

日時 2025年6月19日(木曜日) **午前10時** (受付開始：午前9時15分)

2 書面（郵送）で議決権を行使される場合



本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、切手を貼らずにご投函ください。

行使期限 2025年6月18日(水曜日) **午後6時到着分まで**

3 インターネット等で議決権を行使される場合



パソコン又はスマートフォンから議決権行使サイト (<https://evote.tr.mufg.jp/>) にアクセスし、本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に記載された「ログインID」および「仮パスワード」をご入力いただき、画面の案内にしたがって賛否をご入力ください。

行使期限 2025年6月18日(水曜日) **午後6時入力完了分まで**

4 QRコードを読み取って議決権を行使される場合



本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に記載のログインID、仮パスワードを入力することなく、インターネットの議決権行使サイトにログインすることができます。

議決権行使書用紙に記載のQRコードを読み取ってください。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

行使期限 2025年6月18日（水曜日）
午後6時入力完了分まで

議決権行使書
〇〇〇〇〇〇 御中
株主総会日 _____ 議決権の数 _____
_____ XX株
××××年××月××日

基本は現在のご所有株式数 _____ XX株
議決権の数 _____ XX株

1. _____
2. _____

ログイン用QRコード
ログインID XXXX-XXXX-XXXX-XXX
仮パスワード XXXXX
〇〇〇〇〇〇

見本

※議決権行使書用紙はイメージです。

- ※ 書面（郵送）により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとして取り扱いたします。
- ※ 書面（郵送）とインターネットにより重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきます。
- ※ インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。
- ※ 機関投資家の皆さまは、株式会社ICJが運営する議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。

インターネットによる議決権行使で
パソコンやスマートフォンの操作方法などが
ご不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ヘルプデスク
0120-173-027
(通話料無料/受付時間 9:00~21:00、土日祝祭日等を除く)

株主総会参考書類

第1号議案 剰余金処分の件

剰余金の処分につきまして、以下のとおりとさせていただきますと存じます。

期末配当に関する事項

当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本としており、配当の決定機関は、中間配当が取締役会、期末配当が株主総会であります。

当社は、当社グループの持株会社として、グループ全体の財務体質強化と内部留保の確保を図る一方、株主の皆様への利益還元が経営の重要政策の一つであると考え、当社グループ全体の業績の状況や将来の事業展開、配当性向などを総合的に勘案し、株主の皆様へ配当することを基本としております。

第74期の期末配当につきましては、上記配当方針に基づき、次のとおりとさせていただきますと存じます。

1. 配当財産の種類

金銭

2. 配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき	金16円
配当総額	1,435,957,952円

これにより、当期における1株当たり年間配当金は、中間配当金（1株につき11円）と合わせますと、1株につき27円となり、連結配当性向は27.1%となります。

3. 剰余金の配当が効力を生じる日

2025年6月20日

第2号議案 監査役1名選任の件

監査役佐藤浩光氏は、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、監査役1名の選任をお願いするものであります。

候補者の選定にあたりましては、社内に設置した任意の機関である指名委員会（社外取締役2名、社外監査役1名及び代表取締役以外の取締役1名で構成）において審議し、その答申を受けて取締役会で決定しております。

また、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

当社の監査役候補者選定基準は次のとおりであります。

(監査役候補者選定基準)

当社における監査役候補者は、指名委員会において以下の指名方針に基づき指名された者より、取締役会の承認決議並びに監査役会の同意を得て選定する。

1. 指名方針

- (1) 株主の負託に応え、監査役としての職務を適切に遂行できる者であること。
- (2) 性別、国籍等の個人の属性に関わらず、相当の人格、知識、経験、実績を有し、当社の経営理念を理解し、中立的・客観的観点から監査を行い、当社の健全かつ持続的な成長に貢献することが期待できる者であること。
- (3) 第2項に定める欠格事由に該当しない者であること。
- (4) 社外監査役については、会社法第2条第16号に定める要件に加え、別途定める社外役員の独立性基準を満たす者であること。

2. 欠格事由

- (1) 反社会的勢力との関係が認められる者。
- (2) 会社法第335条第1項に定める欠格事由に該当する者。
- (3) 職務上の法令違反内規違反、私的事項における法令違反等が認められる者。
- (4) 監査役の職務遂行に影響を及ぼす特別の利害関係がある者。

監査役候補者は、次のとおりであります。

株主総会参考書類



たかはし てつや
高橋 哲也

1958年6月9日生（満66歳）

新任

在任年数

—

監査役会への出席状況

—

所有する当社の株式数

2,600株

監査役候補者として選定した理由

高橋哲也氏は、当社子会社の専務取締役役に就任しておりました。同氏は、当社入社以来、当社グループの店舗で経験を積み、その後、店舗全般における作業体系の整備や個々の業務の標準化、作業効率の向上に努めてまいりました。当社グループは、スーパーマーケットを広域に多店舗出店しており、いずれの店舗においても、お客様にご満足いただける商品・サービスを提供していく必要があります。同氏がこれまで経験してきた店舗作業に精通した知見は、企業内監査においても有効であり、監査役としての職務を適切に遂行できると判断いたしましたので、監査役候補者として選定いたしました。

略歴、当社における地位

1977年4月 白根市（現・新潟市）職員
1978年12月 株式会社マルシンフーズ入社
1981年8月 株式会社藤原商店入社
1990年1月 当社入社
1999年4月 当社原信牡丹山店店長
2005年4月 当社店舗運営部エリアマネージャー
2014年9月 株式会社原信ナルスオペレーションサービス 店舗運営部SV室長
2016年6月 同社 執行役員 業務システム部長
2023年5月 株式会社原興産 専務取締役

重要な兼職の状況

なし

(注) 1 候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

2 所有する当社の株式数は、2025年3月31日現在の所有株式数を記載しており、他人名義を含めた実質所有株式数で記載しております。

3 役員等賠償責任保険契約に関する事項

当社は、役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害等（会社の役員としての業務につき行った行為に起因する損害賠償請求による役員個人が被る損害等）を当該保険契約により補填することとしております。本議案が承認された場合、候補者は当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。また、次回更新時には同内容での更新を予定しております。

以上

事業報告

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

I 当社グループの現況に関する事項

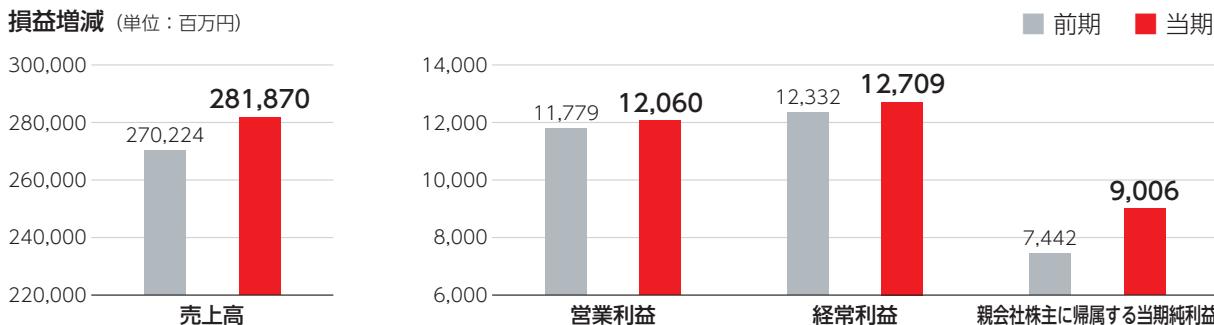
1. 事業の経過及びその成果

(1) 業績全般の概況

当期における我が国経済は、長年続いたデフレーション状態から、持続的な賃上げや活発な投資がけん引する成長型経済への転換を図るための経済政策が進みつつあり、実体経済における変化の兆しが表れております。このような流れに対し、長引く円安基調や、物価水準と実質可処分所得の乖離が課題となっております。加えて、米国の関税政策に起因する混乱により、輸出企業を中心に将来への不確実性が急速に増加し、その影響が懸念されております。

このような状況において、当期における当社グループの連結経営成績は、売上高が2,818億70百万円（前期比4.3%増）、営業利益が120億60百万円（前期比2.4%増）、経常利益が127億9百万円（前期比3.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益が90億6百万円（前期比21.0%増）となり、売上高、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、過去最高の実績となりました。

損益増減 (単位：百万円)

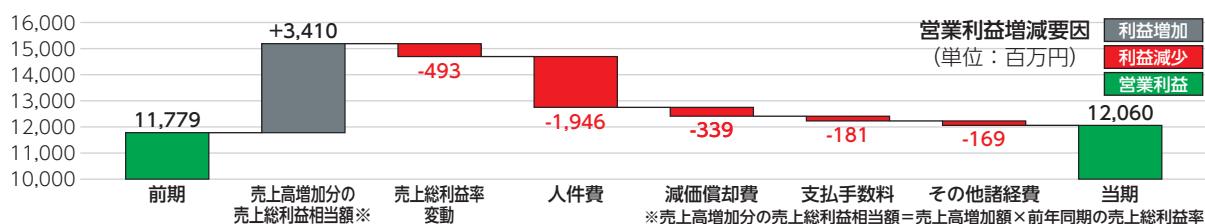


売上高につきましては、様々な商品・サービスが価格上昇する物価基調において、お客様の生活防衛意識が相当高まりましたが、お客様がいつでも買いたいものを安く同じ価格で安心して購入できるように、普段使いの商品を中心に毎日同じ低価格で販売する戦略（ESLP：エブリデイ・セიმ・ロー・プライス）を推進し、客数が前期に比べ増加したことにより、過去最高の実績となりました。

営業利益につきましては、原料原価の上昇、競合他社の動向や値上げ基調を踏まえた低値入の売価政策により売上総利益率が前期に比べ若干低下したことに加え、前向きな賃上げ実施と社会保険料の負担増加により人件費が増加いたしました。諸経費の細やかな統制・削減に努め、過去2番目の実績となりました。

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益の増加と、減損損失をはじめとした特別損失の減少により、過去最高の実績となりました。

なお、財務政策につきましては、資本効率の向上と利益還元を目的として、前期と同様、取締役会決議に基づく自己株式の取得（取得期間：2025年2月5日から2025年8月31日、取得しうる株式の総数：上限200万株、株式の取得価額の総額：上限20億円）を実施しており、本自己株式の取得につきましては、2025年4月28日の買付けをもって取得価額の上限に達したため、終了しております。



(営業利益増減要因)

- <売上高増加> 近年の新規出店、既存店堅調
- <売上総利益率変動> 低価格戦略（ESLP）の推進、競合対策
- <人件費> 前向きな定期昇給・ベースアップ実施、新規採用、社会保険料負担の増加
- <減価償却費> 近年の設備投資、資産除去債務に関する見積りの変更
- <支払手数料> キャッシュレス決済の増加

(2) セグメント別の概況

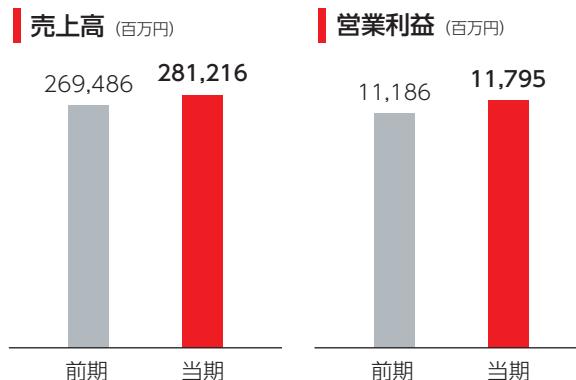
① スーパーマーケット事業



(全般)

年度方針に「おいしさがドまん中大作戦！！」～ うまいよねって言われたい！(≧▽≦)～を掲げ、食品スーパーマーケットとして味をはじめ、商品やサービスの品質に徹底してこだわることで、アクシアルらしさ、ひいては原信、ナルス、フレッセイらしさを追求する様々な取組みを進めております。

当期におけるスーパーマーケット事業の経営成績は、売上高が2,812億16百万円（前期比4.4%増）、営業利益が117億95百万円（前期比5.4%増）となりました。



(販売指標に関する動向)

当期の販売指標等は以下のとおりであります。

項目		第74期 (当期) (2025年3月期)	前期比
期末店舗数	グループ合計	130店舗	1店舗減少
	内訳 (原信)	67店舗	1店舗減少
	(ナルス)	13店舗	—
	(フレッセイ)	50店舗	—
店舗売上高	全店	277,865百万円	104.4%
	既存店	270,995百万円	103.2%
来店客数	全店	11,301万人	103.2%
	既存店	11,042万人	102.6%
客単価	全店	2,459円	101.2%
	既存店	2,454円	100.7%
買上点数	全店	11.42点	97.8%
	既存店	11.41点	97.4%
一品単価	全店	215.25円	103.5%
	既存店	215.17円	103.4%

- (注) 1 記載数値は、「収益認識に関する会計基準」等に基づく調整前の数値で記載しております。
 2 店舗数は、当期末現在におけるスーパーマーケットの設置店舗数であり、他業態の設置店舗数（100円ショップ2店舗）は含みません。
 3 店舗売上高、来店客数、客単価、買上点数、一品単価は、スーパーマーケット店舗のみの数値であります。
 4 客単価は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになった金額の平均であります。
 5 買上点数は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになった商品数の平均であります。
 6 一品単価は、お客様がお買い上げになった商品の一品当たり金額の平均であります。
 7 既存店は、店舗開設より満13か月以上を経過した店舗であります。

<来店客数>

お客様がいつでも安く同じ価格で安心して購入できるように、普段使いの商品を中心に、毎日同じ低価格で販売する戦略（E S L P：エブリデイ・セიმ・ロー・プライス）を推進いたしました。また、プライベート・ブランド商品で、値ごろ感、価格に見合った価値、独自性をご提供し、幅広い品揃えの惣菜で、おいしさ、簡便性をご提供していること、そして、すべての商品の基本である鮮度、品質を徹底する安全・安心の取り組みが、他社店舗を越えてでも当社店舗を利用したいとの来店動機につながりました。加えて、昨今の物価高騰によりお客様の慎重な購買心理が、必要なものを中心とした多頻度少量型のお買物に移行したものと思われることや、一時大幅に減少した帰省等の人流が回復した影響がありました。この結果、来店客数は、既存店で前期に比べ2.6%増加し、全店では近年の新規出店の効果があり前期に比べ3.2%増加いたしました。

<買上点数>

物価高騰で、お客様の節約志向が高まったことや、来店頻度の高まりによるお買物1回あたりの購入数量の減少がありました。この結果、買上点数は、既存店で前期に比べ2.6%減少し、全店では前期に比べ2.2%減少いたしました。

<一品単価>

青果・精肉が相場高騰したことと、水産が主力魚種の高値推移したことにより、生鮮品全般が価格上昇したことや、鶏卵・米の価格高騰、原料原価全般の値上げを受けた販売価格改定を行った影響がありました。このような状況ではありましたが、お客様の購買動向において、普段使いの商品は節約志向が高いものの、一様に節約するだけでなく大切な時にはしっかりとお金をかけて良いものを選びたいというメリハリをつけた消費の傾向もみられました。この結果、一品単価は、既存店で前期に比べ3.4%増加し、全店では前期に比べ3.5%増加いたしました。

<客単価>

買上点数は前期を下回りましたが、一品単価が前期を上回りました。この結果、客単価は、既存店で前期に比べ0.7%増加し、全店では前期に比べ1.2%増加いたしました。

<商品販売における売上総利益率>

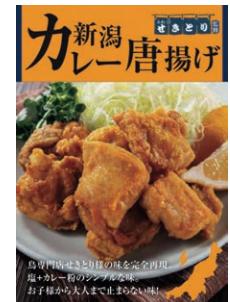
生鮮品の相場高騰や原料原価高騰の環境下において、値ごろ感の打ち出しや、競合を見据えた販売価格設定を行ったこと、自社集中加工品の製造原価が原料原価の高騰や新規投資で上昇したことにより、商品販売における売上総利益率は、前期に比べ0.4ポイント減少し28.5%となりました。

(おいしさ企画化計画)

年度方針「おいさがドまん中大作戦！！」～うまいよなって言われたい！(≧▽≦)～の主要施策として、「おいしさ企画化計画」を掲げて取り組みました。

お客様に感動していただけるような、我が社なりの特徴、こだわりを持った商品を、9か月先を見据え調達・開発することに従来にも増して取り組み、この取組みを始めて以降、見た目の感動だけでなく、感動のおいしさ、感動のサービス、感動の便利さ、感動の楽しさをご提供できるような商品を送り出しました。今後も、失敗を恐れず、失敗しても失敗から学び、次に活かす挑戦を繰り返してまいります。

<商品画像は、当期取組み商品の一例です。一部終売商品が含まれます。>



(出店・退店等)

出店につきましては、新たな新商勢圏への出店として、西端の店舗で富山県4店舗目となる原信呉羽店（11月、富山県富山市、売場面積2,174㎡）を新設いたしました。この地域では、当社グループ店舗の認知度は極めて低いものの、当初の見込みを相当上回るお客様よりご利用いただいております。これは、先行して出店している近隣の当社グループ店舗が提供する商品、サービスを始めたとした品質が事前に評価され、認知度の低い地域においても高いストア・ロイヤルティを得ることができていることによるものと思われます。また、原信水原店を移転し原信阿賀野店（3月、新潟県阿賀野市、売場面積2,138㎡）を新設いたしました。

<原信 呉羽店>



<原信 阿賀野店>



なお、新商勢圏への出店に関連して、2022年5月に長野県中信地区へ初出店した原信では南端の店舗となる原信安曇野店（長野県安曇野市、売場面積2,267㎡）は年々売上が伸長しており、これを含めた長野県内店舗の売上高は、初めて100億円を超えた5年前に比べ、6店舗体制で約1.7倍の170億11百万円の規模になりました。これも、日々営業を続けていく中で、着実にストア・ロイヤルティを蓄積できていることによるものと考えております。新商勢圏への出店につきましては、当社グループが提供する商品・サービスに自信をもって、今後も積極的に進めてまいります。

改装につきましては、原信黒埼店（7月、新潟県新潟市西区、売場面積2,086㎡）、ナルス北城店（9月、新潟県上越市、売場面積2,304㎡）について実施いたしました。

退店につきましては、原信土橋店（9月、新潟県上越市、売場面積2,111㎡）を閉鎖したほか、建替えのため原信六日町店（10月、新潟県南魚沼市、売場面積2,058㎡）を一時閉鎖し、原信阿賀野店への移転に伴い原信水原店（3月、新潟県阿賀野市、売場面積2,144㎡）を閉鎖いたしました。

（本社移転）

2024年10月1日、当社並びに一部関連会社（原信、原信ナルスオペレーションサービス、アクシアルレーベル、原信ネットオーダー）は、本社を移転（所在地：新潟県長岡市中之島1993番地17）いたしました。



当社グループは、長期経営計画「Enjoy! Axial Session♪」において、「規模・機能・人材によって、チェーンストアとしてのマスメリットを創出し、お客様に『豊かさ』・『楽しさ』・『便利さ』を提供します」という政策を掲げ、地域社会への貢献と当社グループの持続的な成長を図ることを目指しております。

この実現のために、規模（店舗数）の拡大・広域化、機能の専門化・細分化、人材の増加・多様化への対応として、従業員同士、店舗と各拠点、グループ会社そしてお取引先様との更なる一体感を生み出すことが重要となるため、このたび、本社機能強化と環境整備を目的として新たに本社を建設し移転いたしました。



この取組みにおいては、「もっと近づく、もっとつながる」をテーマに、「チェーンストアとして必要な機能の強化」、「コミュニケーションの活性化」、「安全・安心、そして健康な本部機能の構築」、「アクシアルの思想承継」をコンセプトに掲げました。

このコンセプトのもと、安全・安心を前提に「おいしさ」を追求するための設備、コミュニケーション実現のための設備、いきいきと働きやすい環境づくりのための設備の設置を行っており、チェーンストアづくりに、ロマン・やりがい・達成感をこれまで以上に感じるができる働き方を実現できるよう取り組むことで、この新本社は今後の当社グループ成長の中心的な基盤になるものと考えております。

(成長基盤の新たな稼働：デリカセンター建設)



当社グループで販売する米飯や惣菜の集中加工を行うローリーデリカセンターが竣工し、2024年4月に本格稼働いたしました。

この建設においては、約30億円を投資して、既存設備の更新、新規設備の導入による機能拡大、生産能力の増強、働きやすい職場環境の整備を図っており、販売する商品の品質向上や安全・安心体制確保、店舗の作業軽減・生産性向上を実現しております。



この稼働により、炊飯については、品質向上したものが数量換算で従来の1.6倍製造可能になり、巻き寿司や煮物等の製品、完成品の包装についても、従来の2～3倍の製造が可能になりました。また、従来では生産・開発できなかった製品の製造も可

能になりました。

なお、ローリーデリカセンターの運用は、子会社のローリーが行っており、お客様から「おいしいよね！」と言っただけの製品を、これまでも増して数多くお届けできるよう取り組んでまいります。

(成長基盤の増強：チルドセンター増築)

当社グループの店舗へ商品を集中配送するための物流拠点の1つである原信ナルス中之島チルドセンターの増築が完了し、2024年4月に本格稼働いたしました。

生鮮食品や温度管理を伴う様々な商品を扱うスーパーマーケットの物流体制においては、商品の特性に応じた物流の機能別に最適な状態を実現することが重要です。

当社グループのチルドセンターは、商品の最適温度帯を維持したうえで、お取引先から入荷した商品を速やかに仕分けし積み替え、店舗の売場へ届ける通過型物流センターとしての重要な機能を担っております。

この建設においては、約10億円を投資して、“お取引先～物流センター～店舗”の間におけるサプライチェーンを一定の温度帯で管理し続ける機能の向上、今後の出店政策を支える配送可能店舗数の増加を図りました。

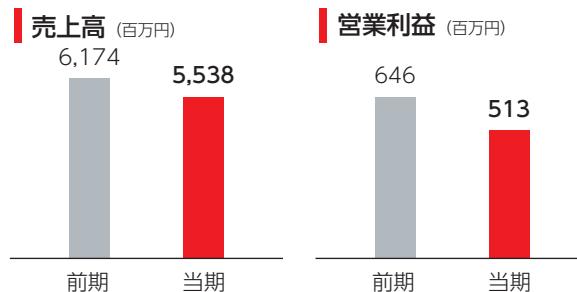


②その他の事業

(全般)

当期におけるその他の事業の経営成績は、売上高が55億38百万円（前期比10.3%減）、営業利益が5億13百万円（前期比20.5%減）となりました。

当期における業績の内容、取組みに関する事項は、以下のとおりであります。



(情報処理事業)

主力であるスーパーマーケット事業向けの販売は、情報機器の販売が前期を下回ったため減少いたしました。また、外部顧客向けの販売は、スーパーマーケット事業の基幹システム改修に開発人員を振り向け外部顧客向けの情報システム開発を一時縮小したため減少いたしました。この結果、売上高は、前期に比べ5.8%減少し、営業利益は、前期に比べ20.1%減少いたしました。

(印刷事業)

主力であるスーパーマーケット事業向けの販売は、各種印刷物や媒体の受注が増えたため増加いたしました。一方、外部顧客向けの販売は、印刷物や各種イベント関連の受注が減り減少いたしました。この結果、売上高は、前期に比べ0.7%増加し、営業利益は、前期に比べ26.3%増加いたしました。

(清掃事業)

主力であるスーパーマーケット事業向けの販売は、安定した受注を受け前期に比べ増加いたしました。一方、外部顧客向けの販売は、リサイクル資材の販売単価が下落し前期に比べ減少いたしました。この結果、売上高は、前期に比べ3.5%増加いたしました。営業利益は、人件費の増加等により前期に比べ2.4%減少いたしました。

(注) セグメント別の状況については、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

③セグメント別売上高の状況

項目			第73期 (2024年3月期)		第74期(当期) (2025年3月期)		対前期比 (%)
			金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
スーパー マーケット	生鮮 食品	青 果	34,643	12.6	36,704	12.8	105.9
		精 肉	31,762	11.5	32,355	11.3	101.9
		水 産	28,490	10.3	29,661	10.3	104.1
		惣 菜	28,954	10.5	30,711	10.7	106.1
		計	123,851	44.9	129,433	45.1	104.5
	一般 食品	デ イ リ ー	57,130	20.7	58,754	20.5	102.8
		加 工 食 品	68,851	25.0	72,213	25.2	104.9
		インスタペーカリー	5,274	1.9	5,659	2.0	107.3
		計	131,256	47.6	136,627	47.7	104.1
		住 居	7,922	2.9	8,498	3.0	107.3
		衣 料 品	90	0.0	82	0.0	91.1
		そ の 他	278	0.1	296	0.1	106.6
		営 業 収 入	5,924	2.2	6,137	2.1	103.6
		セグメント間の 内部売上高又は振替高	161	0.1	140	0.1	86.8
	小 計	269,486	97.8	281,216	98.1	104.4	
そ の 他	外部顧客に対する売上高	899	0.3	795	0.3	88.4	
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,275	1.9	4,743	1.6	89.9	
	小 計	6,174	2.2	5,538	1.9	89.7	
合 計			275,661	100.0	286,755	100.0	104.0

- (注) 1 営業収入は、不動産賃貸収入等であります。
2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

2. 設備投資の状況

当期において実施いたしました当社グループの設備投資額は、79億7百万円（うち、有形固定資産の取得による支出71億83百万円、無形固定資産の取得による支出5億円、その他2億23百万円）であります。

その主なものは、下記の新設2店舗、並びに、本社移転に係るものであり、これらに必要な資金は自己資金及びリース契約により充当いたしました。

事業所名	所在地	開設日
原信 呉羽店	富山県富山市	2024年11月20日
原信 阿賀野店	新潟県阿賀野市	2025年3月20日
原信 本社	新潟県長岡市	2024年10月1日

3. 資金調達の状況

当期において、短期借入金の純増加額及び新たな長期借入金はありません。リース債務につきましては、新たに22百万円の契約を締結いたしました。

4. 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

5. 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

6. 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

2024年4月1日付で、当社の完全子会社である株式会社フレッセイを存続会社、同じく当社の完全子会社である力丸流通サービス株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っております。

7. 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

該当事項はありません。

8. 対処すべき課題

昨今の経営環境は、原料原価・諸経費の高騰や人件費の増加など、企業経営を行っていく上で、これらのコストを吸収しつつ適正利益を確保するための取組みが重要な課題となっております。また、本格的な物価上昇の時代に転換しつつある状況を迎え、同業のみならず異業種からの参入もあり、競合状況は激しさを増しております。

このような状況において、競争に終始するだけでなく、設備や情報投資、職場環境といった経営基盤の整備を強力に推進し、整備した基盤を活用して成長ステージのステップアップを図っており、当社グループらしさや競争力の原点である商品の価値向上に努めております。

次期につきましては、当期の年度方針を踏襲しさらに深耕することを目指して、年度方針を「もっと おいしさがドまん中大作戦!!」～“いかす”アクシアルへ～といたしました。この方針においては、《インフラをいかす》～当社のグループ規模に基づくマスメリットの創出、《人材を活かす》～働きがいの向上や様々な人材の育成活用、《イカす!! アクシアル》～お客様よりご評価いただける営業施策の推進を重点的に進めてまいります。

近年、当社グループは、環境が激変する状況にあっても、変化に対応し持続的な成長を図るため「規模・機能・人材」の拡充に注力し、経営基盤の強化を進めてまいりました。これまで耕し培ってきたこの経営基盤を活かし、一層、お客様より「選ばれるアクシアル」を目指してまいります。

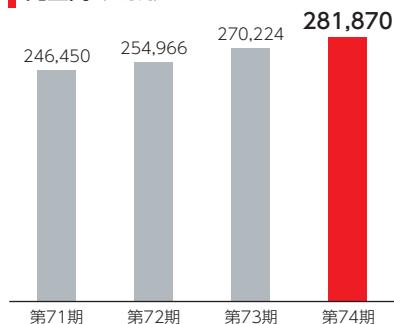
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

9. 直前3事業年度の財産及び損益の状況

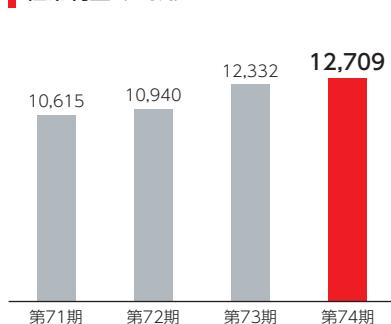
(1) 当社グループ（連結）の財産及び損益の状況

項目		第71期 (2022年3月期)	第72期 (2023年3月期)	第73期 (2024年3月期)	第74期(当期) (2025年3月期)
売上高	(百万円)	246,450	254,966	270,224	281,870
経常利益	(百万円)	10,615	10,940	12,332	12,709
親会社株主に帰属 する当期純利益	(百万円)	7,074	6,356	7,442	9,006
1株当たり 当期純利益	(円)	76.75	68.96	81.79	99.54
総資産	(百万円)	116,855	122,756	131,390	135,296
純資産	(百万円)	74,059	78,705	83,298	89,294
1株当たり 純資産額	(円)	803.53	853.95	920.10	994.96

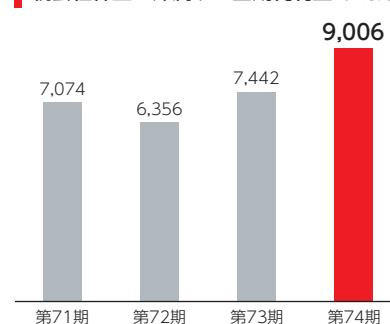
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)

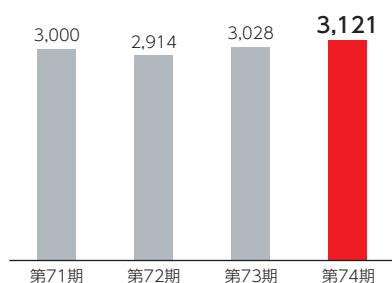


(注) 2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。このため、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 2013年9月13日 企業会計基準委員会)等に基づき、第71期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産額」並びに「1株当たり当期純利益」を算定しております。

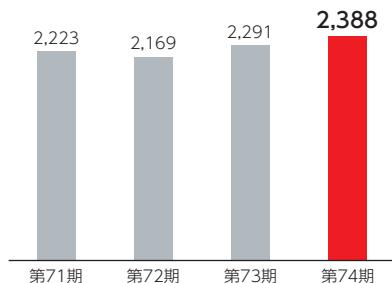
(2) 当社（単体）の財産及び損益の状況

項目		第71期 (2022年3月期)	第72期 (2023年3月期)	第73期 (2024年3月期)	第74期(当期) (2025年3月期)
営業収益	(百万円)	3,000	2,914	3,028	3,121
経常利益	(百万円)	2,223	2,169	2,291	2,388
当期純利益	(百万円)	2,138	2,084	2,190	2,317
1株当たり 当期純利益	(円)	23.20	22.62	24.07	25.62
総資産	(百万円)	32,213	32,334	31,824	29,047
純資産	(百万円)	26,347	26,587	25,331	24,640
1株当たり 純資産額	(円)	285.86	288.47	279.80	274.56

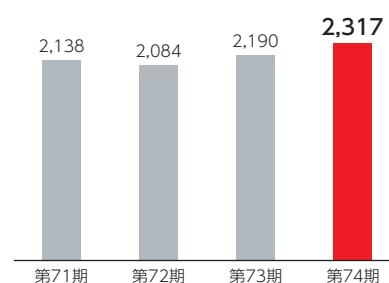
営業収益 (百万円)



経常利益 (百万円)



当期純利益 (百万円)



(注) 2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。このため、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 2013年9月13日 企業会計基準委員会)等に基づき、第71期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産額」並びに「1株当たり当期純利益」を算定しております。

[ご参考] 取締役・監査役のスキルマトリックス

	取締役				
					
氏名	原 和彦	山岸 豊後	丸山 三行	中川 学	早川 仁
会社における地位及び担当	代表取締役 社長 CEO	取締役 副社長 CFO	常務取締役	常務取締役 CMDO	取締役
		執行役員 物流企画部長			
在任年数	25年	27年	13年	9年	7年
 企業経営	●	●	●	●	●
 SDGs ESG					
 法務・コンプライアンス・ リスクマネジメント		●			
 財務会計・ ファイナンス・内部統制		●			
 情報科学技術					

				監査役			
							
丸山 将範	新原 皓一	菊野 麻子	水流 潤太郎	八子 淳一	岩崎 良次	佐藤 浩光	斎藤 良人
取締役 CHRO	取締役 (社外)	取締役 (社外)	取締役 (社外)	常勤監査役 (社外)	常勤監査役	常勤監査役	監査役 (社外)
執行役員 人事企画部長							
3年	9年	4年	3年	11年	9年	4年	7年
●			●	●	●	●	●
●	●	●					
●			●	●			●
				●			●
	●						

MEMO

A series of 18 horizontal dashed lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

株主総会会場のご案内

会場 新潟県長岡市中之島1993番地17
アクシアル リテイリング株式会社 本社

交通のご案内 北陸自動車道中之島見附ICより車で5分
JR長岡駅より車で約25分

開催場所が昨年と異なります。ご来場の際は、お間違いのないようご注意ください。



※お車でお越しの株主様は、本社駐車場をご利用ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。